

会議の名称	第2回タウンミーティング
開催日時	平成26年5月24日(土) 午後2時～午後3時
開催場所	立田庁舎 第1会議室
出席者	市長、副市長、総務部長、企画部長 参加者 27名
テーマ	愛西市の財政、将来展望を含めた市政運営について
質疑応答	
市民A	個人的な要望になりますが、広報5月号を見ておまして、4月1日現在の人口が男女別で書いてありまして、愛西市はもともと4地区が合併してできたところですので、佐織地区が何人とか立田地区が何人とか1年に1回で結構ですので広報紙に載せていただくとありがたいと思います。
総務部長	今のご意見ですが、愛西市一体化ということで毎月市内の人口と世帯数を広報紙に掲載しておりますが、ご希望のとおりにはできるかどうか即答はできません。今日いただいたご意見については、参考にさせていただきます。できる、できないということは、タウンミーティングの回答ということで後日お知らせすることとなっておりますので、そういった場で市の考え方についてお知らせしたいと思っております。よろしくお願いいたします。
市民B	市の社会福祉についてと観光事業について伺いたいことがございます。 まず、社会福祉についてですが、市の社会福祉協議会と市の福祉部との関わりについて教えていただきたいです。観光については、市の観光協会と市の観光係の関わりについて教えていただきたいのと、先日、信長生誕480年祭に参加させていただいたのですが、信長を育む会のNPOと市はどのように連携していくのかと、勝幡城をモチーフ、シンボルにした観光事業の在り方について教えていただきたいです。
企画部長	1点目の市の社会福祉協議会と市の社会福祉課との関わりについてですが、ご存知かと思いますが、社会福祉協議会は社会福祉法人という法人格をもっている団体です。一般的に福祉事業を全般に行っている団体になりますが、社会福祉課は指導といいますか監督をする役割になっております。福祉については、NPOや社会福祉協議会などの団体と一緒にやっていかなければ、今後行政だけではとても賄えないという中で、連携を強化してやっていかなければと思っております。

	<p>観光協会と観光係についてですが、観光協会については、他の市町にも観光協会がございますが、愛西市も合併後に立ち上げさせていただいております。市のPRを市の外に向けて発信していく、または市の中の観光資源、観光史跡を紹介しながら進めていくことが観光協会の業務になっております。その観光協会に補助金を出したり指導をしたりするのが市の観光係の仕事になります。こちらにつきましても、先ほどの社会福祉協議会と同様に観光係としても市のPRをしていかなければなりませんので、情報提供しながら市としてもPRをしていきます。これが観光協会と観光係の関係になります。</p> <p>3点目のNPOと市との関わりについてですが、信長を育む会の事務局は稲沢市にあります。稲沢市と愛西市の境、昔の町名で言いますと平和町と佐織町の境に勝幡城の址というのがございます。そこで信長が生まれたのではないかということが定説になりつつあります。以前は那古野城で生まれたというのが定説だったようですが、歴史を精査していくと勝幡城で生まれた可能性が高いということでNPOの方々がPRをされています。市としましても勝幡駅の整備の中でそういったPRをさせていただいております。残念ながら勝幡城の址は稲沢市にございます。勝幡城址へ行くには勝幡駅が一番近いため、勝幡城を散策される方のために案内板もかけさせていただきまし、駅前にもモニュメントも設置しPRさせていただいております。</p>
市民C	<p>今回このようなタウンミーティングを開催したことについてですが、毎年毎年広報に今おっしゃったことが3月か4月に掲載されていますが、それをあえて市長さんがこのような場を設けられたのはどうしてですかということと、医療と福祉について、今国の方向性が変わってきています。そういうのをまちのトップとしてどのように持っていくのかなという話を期待してきたのですが、大切なことをもう少し気持ちある方に説明していただきたいと思います。</p>
市長	<p>まず、どうしてこのような会を開催したかということですが、広報におきましても年度の予算についてはお示しをさせていただいております。しかしながら、他市との比較などは、今回初めて示させていただきました。なかなか広報ではわかっていただけないことについても、直接私から状況を説明することが必要であろうということと、市民の皆様にも少しでも市の状況をお訴えをして理解していただきたいということで、今回、このような企画をさせていただき</p>

	<p>ました。テーマにつきましては、いろいろ思いはあると思いますが、今回は広報等でお知らせしているとおりに、現在の愛西市の状況を知っていただく機会を持ちたいということで、このようなテーマにさせていただきました。</p> <p>国の状況は、毎年毎年方向性もすべて変わってまいります。これは私どもも理解をしておりますし、国の状況によって市も右往左往する、それは当然のことでございます。しかしながら、国において法令等が変わってまいりますと市もそれに則った方針でまずは行っていかなければならないと思っております。市として、それではいけないのではないかなというようなことは、国、県に対して要望等もさせていただいております。地域にあった条例、予算を配分していただきたいとも考えております。市としても自由なサービスができるようにするには原資が必要になりますし、条例で縛られている点もありますので、今後その点を改善していかなければと考えております。</p>
市民D	<p>今日は、近隣の市町に比べて愛西市の財政力指数が低いという話を聞いてちょっとショックを受けております。市民も行政に協力をして何とか頑張らなくてはと思いました。私が気になるのは、市のマスコットキャラクターあいさいさんのことです。企画課にはあいさいさんグッズがありますが、どうも干からびた感じがするのです。あいさんさんをもっと市全体で宣伝しなくてはいけないと思うのです。マスコットキャラクターを作っただけになっていて、すぐもったいないと思います。小さいことからコツコツとやっていったら、もう少し財政力指数も上がっていくように思いますがどうでしょうか。</p>
市長	<p>貴重なご意見ありがとうございます。なかなか行政ではPRもままならないと思っております。現在、観光協会も立ち上げさせていただいております。観光行政の一環としてあいさいさんも売り出していかなければいけないと思っております。今までも行政としてあいさいさんと出向いてPR活動をしておりましたが、やはり限界がきているのではないかなと思っております。今後は観光協会と行政が一緒になって少しでも皆様方に愛されるマスコットキャラクター、市のPRとなるあいさいさんに改善されるように連携してやっていきたいと思っております。</p>
企画部長	<p>補足説明をさせていただきます。貴重なご意見ありがとうございます。おっしゃっていただいたとおりで、市長も申し上げました。</p>

	<p>が、市としてPRをしていくことにやや限界がきておりまして、平成26年は、あいさいさんを主に観光協会で作っていくように、今後グッズも観光協会で作っていくということの中で、今年度は事務の所管も観光係へ移管いたしました。観光協会と観光係ともっと強く連携をとって、今後、市外へのPRを市と観光協会でもりたてていきたいと思っております。</p>
市民D	<p>もっと市民を巻き込んでいったらいいと思います。市の65歳以上の方で元気な方はいっぱいおられますので、市民を巻き込んでやっていただいたらもう少し元気な愛西市になると思います。財政力指数を1%でも2%でもあげていくように努力しなくてははいけないと思います。若い市長さんですので、よろしくをお願いします。</p>
副市長	<p>おっしゃるとおりでございまして、今、観光ボランティア等も市民の方から募集をして40名程度活躍していただいております。市と観光協会と一体となって、観光政策に取り組んでおりますのでよろしくをお願いいたします。</p>
市民E	<p>今日は、こういう会に参加させていただいて、正直、市長との距離が非常に近くなったということで、こういう機会は貴重だなと思っています。先ほどプロジェクターで財政力指数の話がありましたが、企業誘致の件で、稲沢市との境のあたりで平和町でしょうか、かなり大規模に企業誘致をされています。ああいうのを間近にみると愛西市はどうなんだろうと思います。儲ける方の話なので難しいのかなと思いますが、企業誘致についてどのような考えでどのように進めていくのかお伺いします。</p> <p>2つ目は、財政力指数が低いということはわかりましたが、その原因というのをもう掴まれていると思います。この場でその原因と思われるものを教えていただければ、またはその方向性などがありましたらお聞きしたいです。</p> <p>3つ目は、国の政策はコロコロ変わるのが日常茶飯事のことですが、国の政策に乗れば補助金がかかなり大きなウエイトで支給されます。近隣の市町村との補助金の受給率が気になります。もらえるものはもらう、ですが、補助金の制度はすぐに申請をしないとつかないことが多いのですが、それに乗り遅れば補助金はいただけないので、そのあたり近隣と比べてどうなのか気になります。</p> <p>4つ目に、4地区が集まって一つの市になり、私の個人的な感想なのですが、都市計画的に人口が密集しているところはかなり密集している、密集していないところは全然密集していない。そうする</p>

	<p>とその中で社会資本整備をする場合、当然均一には扱えないと思います。そうするとこの地区ではいいけれど他地区では重視されていないとか、地区ごとで重視していることが異なるため、地区により逆転現象が生じると思います。それを上手にやることとといいますか、このことをどのように考えられているのかということと、その方向性について伺いたいです。</p>
<p>市長</p>	<p>企業誘致について、私はやっていきたいと考えております。現在県の企業庁と協議をしながら、市内で企業誘致を行っていきたいという話を進めてきております。おっしゃられたように稲沢市と比べると愛西市では進んでいないと思います。市としては企業誘致をしていきたいと考え、企業庁とも協議を進めさせていただいております。場所などについては、企業庁の協力を得られたところからやっていきたいと思っておりますし、企業誘致ができる状況になれば今度はどのような企業にきていただくかということになりますので、企業についてもしっかりと精査しながら、市にとってできるだけ有利になるような企業にきていただきたいと思っております。ご心配いただいているとおり、少しでも皆様方に形がみえるような状況を作りたいと現在努力をさせていただいております。</p> <p>財政力指数が低い原因については、後ほど、副市長もしくは企画部長からお話をさせていただきます。</p> <p>補助金の近隣との獲得状況についてですが、数字的につかんでおりませんが、私が就任してからは、市全体でできる限り国、県の補助金を獲得するよう指示をしております。皆さんにも県税等お支払いいただいておりますので、できるだけ国、県からお金をいただいてそれを原資に事業を進めていくことが私も市にとって必ずプラスになると考えております。できる限り有利な補助金は獲得するように努めております。4点目についてですが、人口密度によってインフラや社会資本整備が偏るのではないかとということですが、下水事業についても立田、八開地区は農業集落排水を採用し、佐屋、佐織地区については流域下水、公共下水を進めております。こうした部分も同じことだと思いますが、地域特性もありますので、地域の特性をみながら地域にとって有利な方法で事業を進めていかなければならないと思っております。限られた原資の中で少しでも皆様方に喜ばれるような事業を、また守らなければならないことを進めていかなければいけないと思っております。インフラ整備はかなり費用がかかりますので、すぐには結果がでるものではありません。</p>

	<p>ませんが、確実にやっていかなければならないと思っております。それでは補足をお願いします。</p>
副市長	<p>2点目の財政力指数が低い原因についてでございますが、簡単に言いますと税収が少ないということが原因になると思います。詳しい原因があれば企画部長よりお話をさせていただきますし、3番目の国の政策に関する補助金の件ですが、補助金は国も県も全体の2分の1が補助だと思っております。その残りは、必ず市の単費が必要になりますので、その単費が無駄でないのか、本当にやらなければならない事業なのかということも一つございます。また、補助金制度を見逃しているのではないかというお話かと思いますが、それについては、日頃から万全の準備といいますか情報収集をしていくことが市としても重要ではないかと思っておりますので、すぐに手を挙げられる状況にしていきたいと思っております。4点目の社会資本の整備についてですが、市長も申し上げましたが、それぞれの地区の特性もございますし、公共下水と集落排水もきちんとやっておりますし、それ以外の社会資本の整備についても立田、八開地域は農村地帯でありますので、極めて農林水産部局の補助金、交付金が多いと思えますし、佐屋、佐織地区については都市局、国土交通省の関係の補助金、交付金が多いという方向性でございます。</p>
企画部長	<p>財政力指数の関係で補足説明をさせていただきます。副市長からご説明がありましたが、市の法人税とたばこ税とどちらが高いと思われませんか？実は、たばこ税の方が多いのです。反面、リーマンショック以降各市町はかなり打撃を受けましたが、逆に愛西市はいいか悪いかは別として幸い法人税が少なかったためにあまり打撃は受けませんでした。固定資産税については、先ほどの社会資本整備の話とも関係しますが、立田、八開地区は農業振興地域で市街化地域ではないため、他の市町より面積は広いものの農業振興地域が占める割合が非常に高いため、なかなか転用ですとか宅地化ができないため固定資産税も低調だと私どもは分析をしております。他にもいろいろ要因はあるかと思いますが、以上が主な原因ではなかろうかと思っております。</p>